

第16回

若手小児腎臓医のための パワーアップセミナー

チュートリアル方式によるアクティブラーニングで、
効率的に小児腎疾患を学びましょみゃあ！！

日時

2024年11/16(土)～17(日)

会場

名古屋駅直結!!

名古屋市立大学ミッドタウン名駅サテライト

〒450-6305

名古屋市中村区名駅1-1-1 5階 JPタワー名古屋

5階セミナー室

対象

小児腎臓専門医を志す小児科医

※小児腎臓医としての経験年数は不問・要小児腎臓病学会入会

参加費

16,000円 ※懇親会費込み

受講の流れ

7月下旬	グループ分け
8月上旬	グループ毎にGoogle Chat（予定）を用いて事前学習開始
セミナー1日目	チュートリアル学習 発表準備 教育講演1・2
セミナー2日目	グループ発表 ディスカッション

応募要領

本誌裏の「参加者の心得」をお読みいただき、チュートリアルの進め方、特に事前学習の意味を理解して下さい。

①～④の分野から第1希望、第2希望を選び、右上QRコードの参加申し込みフォームを通して事務局までご連絡下さい。

- ① ネフローゼ症候群 ② 腎炎
③ 慢性腎不全 ④ 水電解質・尿細管疾患

参加申込はこちら



連絡先

第16回 実行委員長 藤田 直也

事務局 田中 一樹、寺野 千香子
(あいち小児保健医療総合センター)

kazuki_t@sk00106.achmc.pref.aichi.jp

申込み期間 6月7日～7月19日

QRコードからの登録をお願いします。
※定員になり次第募集は終了します。

<企画> 日本小児腎臓病学会 教育委員会

教育講演

久松 英治先生（あいち小児保健医療総合センター 泌尿器科）
藤田 直也先生（あいち小児保健医療総合センター 腎臓科）
山本 雅紀先生（聖隷浜松病院 小児科）

チューター

石森 真吾先生（神戸大学医学部附属病院 小児科） 篠塚 俊介先生（松戸市立総合医療センター 小児科）
内田 博之先生（浜松医科大学 小児科） 山口 玲子先生（名古屋市立大学大学院 医学研究科）
大森 教雄先生（長野県立こども病院 小児集中治療科） 山村 なつみ先生（大阪母子医療センター 腎・代謝科）
櫻谷 浩志先生（埼玉県立小児医療センター 腎臓科） 山本 かずな先生（滋賀医科大学附属病院 小児科）

2024年度日本小児腎臓病学会パワーアップセミナー参加希望者へ

本セミナーは、日本小児腎臓病学会教育委員会が小児腎臓医育成プログラムの一環として全国各地で開催してきました。16回目の今回は初めての愛知開催です。コロナ禍以降講義形式のセミナーのみで“小児腎をマスターする”ことは困難です。本セミナーでは実践的な症例から多くの問題を抽出し、自主的に学んでいくチュートリアル形式を採用しています。オンラインでの事前学習は自分のレベルに合わせて勉強ができるので、小児腎臓医としての経験年数は参加条件にはしていません。学習意欲があれば経験の浅い方でも十分にセミナーの醍醐味を体験できると思います。

このセミナーには以下のようなメリットがあります

1. ネフローゼ症候群、腎炎、慢性腎不全、水電解質・尿細管疾患の4つから受講項目を選択できる(第二希望のテーマとなる場合もあります)。
2. 教育委員会で作成した実践的な症例のシナリオに沿って、チューターと相談しながら、自分のペースで学習を進めることができます。
3. 少人数でのグループ学習を通じ様々な経験・レベルの異なる小児腎臓医と交流し、相互に学ぶことができます。
4. 小児腎臓医として必要なスキルに関連した教育講演を聴講できる。
5. セミナーを通して、学会メンバーと縦横のつながりをもつことができる。

「参加者の心得」

本セミナーの基本は自主学習であるため、事前学習に意欲的であることが必須です。チューターによる効果的な学習サポートは、シナリオに沿って計画的に行いますので、受講者は回答やレポート提出の期限厳守をお願い致します。

セミナーの開催に際して、チューターや講師は基本的にボランティアで参加します。

また、開催の準備を担当施設の学会員および教育委員会メンバーで行いますので、多少の不便をおかけすることもあるかもしれませんが、ご理解のほどお願い致します。

今年も顔をつき合わせた懇親会を用意しています。同じ志を持つ先生方や先輩たちとの繋がりや親睦を深める大切な機会であると考えています。

若手の意欲のある先生方と小児腎臓病学の大切さ、面白さを分かち合い、実りのあるセミナーにしたいと思います。奮ってご応募ください。

日本小児腎臓病学会教育委員会委員長 池住洋平